なら激しい音がするはず」などとも指摘。作業員はこうした音を聞いておらず、プールからあふれた水がダクトを通じて4階にあふれ出たとする仮説を支持する意見が大勢を占めた。報告書案は「（作業員が見た水は）使用済み核燃料貯蔵プールが水源となっていた可能性が高い」と結論付けた。

くすぶっていた地震破壊説はひとまず否定された。だが原発内部は破壊され尽くしたうえに汚染されている。今回の規制委による現場調査も短時間にとどまり、状況証拠を積み重ねたにすぎない。事故原因を明らかにする決定的な証拠は当面得られそうもなく、福島第1原発の完全な事故解明は長期戦になりそうだ。

（古谷茂久）

ナノテク研究・人材育成
産総研、つくばに拠点
省エネ部品など開発

【つくば】産業技術総合研究所は26日、産学官が共同で進めるナノテクノロジー分野の研究開発拠点を茨城県つくば市に開設する。省エネ機器の中核部品となる次世代のパワー半導体や、低消費電力で超高精細画像などを見られる光通信ネットワークなどの開発を進める。

の総事業費は870億円以上を見込む。

次世代の炭化ケイ素を使った半導体の開発を進め、太陽光発電や電気自動車用として数年後に実用化する。現在、産総研と富士電機など26社がコンソーシアムを組んで開発に取り組んでいる。

筑波大学は4月、トヨタ自動車やデンソー、富士電機からの寄付を受け、次世代のパワーエレクトロニクス分野のリーダーを育てる講座を大学院に設けた。その拠点をTIA連携棟にも置き、次世代リーダー育成にも力を入れる。

インフォメーション

◇東京大学　7月11日午後1～4時、東京大学本郷キャンパス（東京・文京）工学部2号館で、同大先端電力エネルギー・環境技術教育研究センターの活動報

Techno Online

マイナンバー制度　姓名入力時の誤り

マイナンバー制度は6年から実施される。現在は年金番号、納税者番号、運転免許証番号など、それぞれ有の個人番号が付与される。非効率な作業が目立ち、個人にとっても煩わしいので、統一を望んでいた。

課題として個人情報の漏洩が話題になるが、筆者は入力や処理の誤りを懸念する。理由は姓名の漢字表示と読みとの多様性だ。個人認識の唯一の手がかりとなる番号だから、誤りがあってはならない。07年の年金記録問題は、紙のデータ処理をコンピューター処理に変換する段階での誤りで、ずさんな入力作業が原因だった。

紙の情報が完全でなかった上に漢字を扱うコンピューター技術が未熟で、幾通りもある人名表示を正しく変換して入力することが困難だった。それにもかかわらず入力後に紙の原情報を破棄してしまった。問題が生じても原因追究ができず解決を難しくした。

日本人の姓名の漢字表示と読みは、非常に多様で個性的だ。それを十分に考慮した運用が必要だ。年金問題以前に

システムの連携過程において誤りが起こり得る。番号が統一されるため被害も大きいから、誤り回避の手段やシステム設計に最善の技術を生かしてほしい。

そのために、責任を明確にした実行組織を確立し、運用の透明性と個人情報の誤り防止を最優先すべきだ。国民が自分の番号やデータにアクセスし記録を確認できる仕組みも望ましい。もし年金記録と同様な問題が生ずると制度の信頼が失われ致命的になる。

マイナンバー制度が正しく機能すれば、技術を活用し行政コストが低減した効率の良い電子政府が期待されるだけでなく、手続きなど国民の手間も大幅に緩和される。個人情報漏洩の弊害が憂慮されるが、悪用を防ぐ手段はある。弊害だけでなく、利点のさらなる活用についても十分に議論すべきだ。

（東京大学名誉教授　山崎弘郎）

資料請求無料 すぐこちら　FreeDial 携帯電話からもOK　0120-22-0055　FAXからも問い合わせ可能　FAX: 03-3364-5523　広告

WEBでも公開中!!　KJC Biz　検索

企画・構成（株）経済情報センター TEL: 03-3364-5121　（株）日経エージェンシー

世界にも誇れる ニッポンの技術

優れた耳環境性と広い応用域を実現する
独自の光学薄膜加工技術

真空蒸着法による光学薄膜製品の製造・販売を行う京浜光膜工業。長年培ったノウハウと技術により、差別化された特性と安定した性能を有する製品を数多く手がけている。

大型真空蒸着機の保有台数は、世界でも有数であり大量安定生産を得意としている。世界的に普及しているスマートフォンに搭載されているカメラの光学部品（視感度補正フィルター）の生産量は群を抜いている。可視域で最も反射率が高いといわれる銀ミラーでは、高温高湿試験1000時間達成(※同社試験による)という優れた耐環境特性を実現。集光式太陽光発電やプロジェクター、LED照明、医療等に利用され、同社の主力製品となっている。

京浜光膜工業株式会社
KEIHIN KOMAKU KOGYO CO.,LTD.
http://www.keihin-opt.co.jp

高品質・低コスト化を実現する
独自技術「NPM成形」

南条装備工業[illegible]ど自動車内装部品の製造を[illegible]る。

独自の「NPM成[illegible]技術を用いた高度な[illegible]いるドアトリムの分野[illegible]社から高い評価を得ており、軽量化と側面衝突の衝撃を吸収して搭乗者のダメージを軽減する優れた機能を備えながら、デザイン性やソフトな手触り感も実現している。

グローバル時代に通用する高い品質と生産性を誇り、技術開発力とチャレンジ精神に満ちた展開を行う同社。今後も様々な分野への参入や海外展開など、幅広いステージでの活躍が期待できる一社だ。

南条装備工業株式会社
http://www.nanjo.co.jp

既存技術を活かした新技術への挑戦
金属加工のワンストップ企業

「金属加工」「薄膜事業」の２本の事業を柱とし、独自の製品開発を展開する清水製作所。金属加工分野では半導体製造装置、真空チャンバーなど様々な部品に実績を持ち、熟練の技術が要求される真空部品の溶接を得意としている。

創業当初は鋳物用木型や仏具製品などの木材加工を行っていた同社だが、産業構造の変化・展開に伴い金属加工へと業態を変換。その後も設備の新鋭化や技術の向上に努め、現在では関西地区の工作機械や半導体製造装置メーカーの協力会社として認定されている。

また、昨年5月には薄膜事業部が独立。事業所兼技術開発研究所を設立し、高機能性薄膜の技術開発を行っている。

株式会社清水製作所
http://www.shimizu-mfg.com

一歩先んじた技術力で
独自の製品展開を実現

自動搬送、自動組付A'ssy機、マテハンシステム等の設計・製作を行う技研株式会社。顧客のビジネスの効率化・省力化、そして長く安心して使える製品づくりを目的に画期的なソリューションを提案している。

自動車事業
単体装置からライン全体の自動搬送設備、自動組付設備まで柔軟に対応。装置の高精度化・小型化はもちろん、省力化、製品クオリティの統一化を提案。

アルミ事業
アルミニウム形材押出用後面設備ならびにアルミ関連装置に豊富なノウハウと開発実績を持つ。

産業機械事業
収益向上や生産効率のアップ、業務課題の解決を可能にする自動化・省人化を提案。様々な「革新」を実現する。

技研株式会社
http://www.giken-jpn.com

優れた耐環境性と広い応用域を実現する
独自の光学薄膜加工技術

真空蒸着法による光学薄膜製品の製造・販売を行う京浜光膜工業。長年培ったノウハウと技術により、差別化された特性と安定した性能を有する製品を数多く手がけている。

大型真空蒸着機の保有台数は、世界でも有数であり大量安定生産を得意としている。世界的に普及しているスマートフォンに搭載されているカメラの光学部品（視感度補正フィルター）の生産量は群を抜いている。可視域で最も反射率が高いといわれる銀ミラーでは、高温高湿試験1000時間達成(※同社試験による)という優れた耐環境特性を実現。集光式太陽光発電やプロジェクター、LED照明、医療等に利用され、同社の主力製品となっている。

京浜光膜工業株式会社
KEIHIN KOMAKU KOGYO CO.,LTD.
http://www.keihin-opt.co.jp